

愛媛県生涯学習推進計画（第四次）

誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造

《概要版》



愛媛県・愛媛県教育委員会

計画策定の趣旨

国においては

- ・第2期教育振興基本計画の策定（平成25年6月）
- ・新教育委員会制度（平成27年4月～）

本県においては

- ・第六次愛媛県長期計画の策定（長期ビジョン：平成23年9月、第2期アクションプログラム：平成27年5月）
- ・愛媛県教育振興に関する大綱の策定（平成27年5月）
- ・愛媛県教育基本方針・重点施策の策定（平成27年7月）

などを受けて、生涯学習推進計画（平成23～27年度）の成果と課題を踏まえた新たな計画の策定が必要とされています。



基本目標

「誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造」

①生涯学習に関する参加状況と意識等の向上

本県における成人の生涯学習参加率は25.7%にとどまっており、一人一人が輝いた生き方をしていくためにも、自己実現を図り生活を向上させるためにも、誰もが生涯学習に取り組む機運の向上や仕組みづくりが求められています。

②社会的課題の解決

少子高齢化が進行する中で、ひとり暮らしや孤独死などの問題が起こっています。核家族化やひとり親世帯の増加、地域社会の人間関係の希薄化によって、子育て環境は変化し、子どもや子育て家庭の孤立化、さらには貧困など多くの問題が起こっています。福祉や防災、環境美化、子育て文化の継承などの喫緊の社会的課題が山積していますが、それらの解決に生涯学習が大きな役割を果たすものとして期待されています。

施策の方向性

(1) 主体的に学習活動をひろげる

社会の変化に柔軟に適応し、主体的に生きていく力を身に付けるためには、社会的な課題に対して体験型学習、問題発見・解決型の学習機会を充実していくことが求められます。

(2) 学びの仕組みを協働でつくる

新しい公共の担い手として、それぞれの個性や価値観の違いを認めつつ、それぞれの持ち味を発揮して解決に当たるといふ、主体的に生きながら社会に参画できる仕組みをつくっていく必要があります。

(3) 学びの成果をまちづくりにつなぐ

“学び”の促進のためには、個人の学習成果が社会全体で正しく評価され、活用される仕組みや風土づくりが重要です。学びの成果をまちづくりに活かしていく中で課題に直面すれば、そこからまた新たな学習に取り組むという学びと実践とが循環する社会づくりが求められます。

本計画の特徴

○推進指標の設定

- ・指標の広域性・公益性を重視
 - ・参加者数や事業開催回数などの事業実績（アウトプット）よりも、満足度や普及率などの教育的効果や成果（アウトカム）を重視
 - ・「生涯学習に関する参加状況や意識等の向上」を測る指標を重視
 - ・次世代育成の視点を重視
- したことにより、前計画の347項目から28項目へ重点化を図りました。

○市町への普及

本計画は、計画策定の趣旨をはじめ、上記推進指標の設定方法など、各市町における計画策定の参考となるよう配慮しています。

計画の期間

本計画の期間は、平成28年度から概ね5年間と定め、社会の状況変化や施策の成果に対する評価を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

施策体系図

基本目標	施策の方向性	NO	推進施策	NO	推進指標	現状値	目標 (平成32年度)	所管課
誰もが主役で輝き続ける“学び舎えひめ”の創造	I 主体的に学習活動をひろげる	1	県民の生涯学習に関する参加状況と意識の向上	①	県民の生涯学習への参加割合	25.7% (平成27年度)	50%	生涯学習課
				②	今後、生涯学習へ参加したいと思う県民の割合	72.4% (平成27年度)	75%	生涯学習課
		2	生涯学習関連施設の充実	3	県民一人あたりの生涯学習関連施設の利用回数	4.2回 (平成26年度)	4.4回 (平成30年度)	生涯学習課
				4	県内公立図書館の県民1人当たりの年間貸出冊数	4.7冊 (平成26年度)	4.9冊 (平成30年度)	生涯学習課
		3	青少年の社会参画のための学習機会の充実	5	地域行事に参加している小中学生の割合	小73.6% 中61.1% (平成27年度)	小75% 中65%	生涯学習課 義務教育課
		4	多様な主体や場による学習機会の提供	6	「ふるさと愛媛学」の成果を生かした学校への出前講座・出前授業開催市町数	8/20市町 (平成26年度)	12/20市町	生涯学習課
				7	学び舎えひめ悠々大学の対象講座登録数	1,108件 (平成26年度)	1,400件 (平成30年度)	生涯学習課
		5	生涯スポーツ等を通じた県民同士の学びや交流の促進	8	総合型地域スポーツクラブ設置箇所数	41箇所 (平成26年度)	68箇所 (平成30年度)	文化・スポーツ 振興課
	II 学びの仕組みを協働でつくる	6	県民の社会教育活動への参加状況と意識の向上	⑨	県民の地域活動、公民館活動等への参加割合	43.5% (平成27年度)	50%	生涯学習課
				⑩	県民の地域活動、公民館活動等へ参加したいと思う割合	67.4% (平成27年度)	70%	生涯学習課
		7	生涯学習情報の提供と学習相談の充実	11	生涯学習情報システムの講座等登録件数	2,675件 (平成26年度)	3,000件	生涯学習課
		8	学校・家庭・地域の連携による教育の推進	12	学校支援ボランティア活動により、学校の教育水準の向上に効果があったと回答した小中学校の割合	小94.8% 中89.4% (平成27年度)	小95% 中90%	生涯学習課 義務教育課
				13	子どもの教育活動支援や家庭教育支援等に携わった地域住民の人数	82,383人 (平成26年度)	100,000人	生涯学習課
		9	民間等との協働による社会貢献・教育活動の提供	14	えひめ学校教育サポーター企業 登録企業・団体数	154企業・団体 (平成26年度)	200企業・団体	生涯学習課
				15	えひめ家庭教育サポート企業連携事業協定締結企業数	59社 (平成26年度)	85社	生涯学習課
		10	多様な主体による次世代育成支援事業の充実	16	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の設置数	22教室 (平成26年度)	30教室	生涯学習課
				17	子どもを対象とした芸術文化事業参加者満足度	95.0% (平成26年度)	95%	文化・スポーツ 振興課
		11	地域を見つめ直すための連携体制の充実	18	「ふるさと愛媛学」普及推進事業における共同企画への参画市町数	17/20市町 (平成26年度)	20/20市町	生涯学習課
		12	協働を支える指導者の養成	19	市町における社会教育主事の配置率	12/20市町 (平成27年度)	20/20市町	生涯学習課
		III 学びの成果をまちづくりにつなぐ	13	学習成果が循環する機会、体制の充実	20	学びの成果循環のための新たな取組み(事業)設立数	-	5取組み(事業)
	21				生涯学習の講師として登録している延べ人数	782人 (平成26年度)	800人 (平成30年度)	生涯学習課
	14		生涯学習ボランティア活動への支援	㉒	県民のボランティア活動への参加割合	46.7% (平成27年度)	60%	生涯学習課
				㉓	今後、ボランティア活動へ参加したいと思う県民の割合	70.2% (平成27年度)	75%	生涯学習課
	15		社会教育施設の機能強化と利用促進	24	博物館や科学館、図書館を利用した授業を実施した小中学校の割合	小26.0% 中12.1% (平成27年度)	小30% 中15%	生涯学習課 義務教育課
	16		住民参画による地域づくりの推進	25	地域づくりリーダー数	192人 (平成26年度)	342人	地域政策課
	17		社会の要請に関する学習機会の提供	26	愛媛県人権・同和教育研究大会への参加者数	2,312人 (平成26年度)	2,500人 (平成30年度)	人権教育課
				27	地域人材を活用した土曜教育推進事業における延べ教育支援者数	108人 (平成26年度)	360人	生涯学習課
	18	生涯学習の成果発表・交流・体験機会の提供	28	県が行う生涯学習に関する体験型イベント参加者数	18,000人 (平成26年度)	20,000人	生涯学習課	

※ 「次世代育成の視点を重視した推進指標」No.5,6,12,13,14,16,17,24,27

※ 「県民の生涯学習に関する参加状況や意識等に係る推進指標」No.①,②,⑨,⑩,㉒,㉓

愛媛県教育委員会事務局 管理部 生涯学習課

TEL:089-912-2932 FAX:089-912-2929 E-mail:shougaigaku@pref.ehime.jp